<第54号>なでしこ通信

平成 27 年度　夏号

今年の冬から休眠状態となった《なでしこ通信》でしたが、目が覚めてみると、もう夏本番。里親委託率 50%に向け、「普及啓発活動の強化」が今年度からの課題の一つであった筈・・。

お便りの内容も、半年間のイベントなど内容がてんこ盛り。これからは、もう少しこまめに作成しようと反省することしきり。ただし、ホームページもリニューアル化に向けて始動開始。

少しずつ、普及啓発の取組みが動き始めました。

センター職員の人事異動がありました！

◇　4 月 1 日　就任

事務局長　望月　秀樹

当センターが定年退職後 3 か所目で、就労年数は長くなりましたが、戸惑うことばかり。驚くような話に接することもありますが、里親さんの頑張りに元気をもらっています。今は、職員の足を引っ張る毎日ですが、少しでも早く子ども達のためにと思っていますので、どうぞ、長い目で見守って下さい。

◇　7 月 1 日　採用

里親支援員　トマジ　里絵

当センターで働けることに至った幸運に日々喜びを噛みしめています。経験も足りない私ですが、皆さんのお話を聞かせていただきながら里親支援員として、共に子ども達の育ちを考え見守っていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

◇　6 月 30 日　退職　　次長兼支援コーディネーター　佐野　多恵子

このたび、家庭の事情で退職することになりました。

静岡市児童相談所が発足した平成 17 年から 10 年間、大変お世話になりました。

眞子理事長のご指導の下、里親会の皆様や静岡市児童相談所の所長をはじめとする職員の皆様、そして里親制度を物心両面で支えてくださっている静岡市里親家庭支援センター各会員の皆様とスタッフに支えられ、少しずつ前に進むことができました。

改めて後ろを振り向くと、失敗の数々に赤面しつつ感謝の気持ちで胸がいっぱいです。

今、静岡市の里親支援に関する先進的な取り組みが市内外で注目されてきています。

これから頑張らなくてはならない時に退職となり心残りもありますが、今の自分が求められていることをしっかり受け止め、精いっぱい役割を果たしていこうと思っております。有難うございました。今後とも静岡市里親家庭支援センターをよろしくお願い申し上げます。

児童相談所職員の人事異動がありました！

◇　４月１日　就任
里親担当　　神戸　聖月

児童相談所支援第一係の神戸です。今年度から、里子さんたちのケースワークの充実を図るため、「里子担当」が新たに設けられ、担当させていただくことになりました。

お子さんたちの成長を一緒に見守っていきたいと思います。

よろしくお願いします。

平成 27 年度

新しい里親さんの紹介

里親登録年月日　　平成 27 年６月３日

□　葵　区　里親夫妻１組

□　清水区　里親夫妻１組

よろしくお願いします。

平成 27 年度

静岡市里親会会長表彰受賞者

表彰年月日　　平成 27 年５月 24 日

□　葵　区　里親夫妻１組

受賞おめでとうございます。

報　告　事　項

“５月、６月は役員会、総会のラッシュ”

出席された役員、正会員の皆様、ご苦労さまでした。

里親会役員会・総会　　**５月 24 日（日）10:00～12:00**

来賓に、例年ご出席をお願いしている内山雅之児童相談所長、高井篤静岡県里親連合会会長、相原眞人静岡福祉大学教授に加えて、静岡市子ども未来局から高松利光局次長にもご出席いただき、ご挨拶をいただきました。

第１回　スキルアップ研修

＝ピア・カウンセリング＝　　5月24日（日）13：00～14:40

当研修会では、「制度とサービス」「自立と自立後の関わり」「里父のはたらき」「養子縁組」など１１のテーマ別に分かれ、参加した里親同士で活発な意見交換が行われ、最後に、グループごとに報告がありました。

平松以津子子ども未来局長も午後の研修会に駆けつけてくれ、里親のピア・カウンセリングの様子を熱心に見学してくれました。

最後に、静岡福祉大学の相原教授から次の３点について、高い評価をいただきました。

① テーマ設定の素晴らしさ
　他の分科会では、発達段階などといった大きな括りで５つ位のテーマを設定することが多いが、相談員が日々の活動の中で里親の状況やニーズをしっかりと把握し、きめ細かなテーマ設定をしていたこと。

② 活発に意見交換
　大きな会場だと、議論が盛り上がらないことが多いが、どのグループでも活発に意見交換が行われていたこと。

③ ピア・カウンセリングの効果
　研修の終わりごろには、参加者が笑顔になっていて、グループ討議を始める頃の不安や悩みの解消に役立ったのではないか。

また、参加した里親さんからも、少人数でのグループワークで特定の人に偏らず、内容の濃い意見交換ができたこと、多くのテーマの中から選択できたことや発表会で他のグループでの討議内容が聞けてよかったことなど、概ね好意的な意見をもらいました。

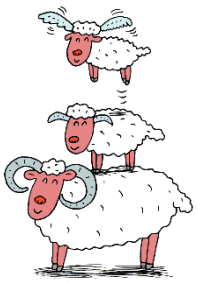
相談員の方々は、この日のため、４回にわたる事前検討や資料作りに頑張っていただきました。平成３０年度に、静岡市里親会が「関東甲信越静里親研究協議会」を主催することになりますが、それに向けて、グループワークの質を高めるという目的で、今回、相談員の取組みが行われました。成功裏に終わってホッとしています。相談員の皆様、本当にご苦労様でした。

注）「ピア」とは、「対等」「仲間」と言う意味。
「ピア・カウンセリング」の目的は、同じ立場の人同士が
対等な立場で話を聞き,共感を通して支え合うこと。

センター第１回理事会・通常総会　　平成 27 年 6 月 4 日（木）9:30～

□　理事会では、平成 26 年度第 3 回理事会で承認された「自立支援事業費」を「平成 27 年度事業計画」に追加するため、「事業計画の一部変更について」の議案が上程され、全会一致で承認されました。

注）自立支援事費とは、賛助会費や寄付金を原資としてセンターが独自に、里子が就職や進学等で自立する際、支度金や生活費の一部を助成するため、１人１０万円を支給するもの。平成２６年度は１件実施し、平成２７年度は４件を予定。



□　総会では、静岡県議会議員の天野進吾氏が出席され、故望月秀穂氏の熱心な里親活動に感銘を受けたことや里親の皆さんの活動に対する謝意など、挨拶がありました。

総会の審議は、正会員全員が出席し、理事会から上程された「平成２６年度決算・事業報告」及び「平成２７年度事業計画・収支予算」について、全会一致で承認されました。

平成２７年度　新規事業

□　自立支援事業費（センター独自事業）
上記で説明したとおり。

□　里親委託推進委員会の設置（新規委託事業）
□岡市の里親委託推進に関する協議をするため、各方面の専門家で構成される第三者機関を設置し、定期的に開催する。

□　静岡市版里親パンフレット作成（新規委託事業）
静岡市の里親制度、活動状況を広く市民に周知するため、静岡市版パンフレットを作成し、今後の普及啓発事業の強化のために役立てる。

活　動　報　告

✧　４月 10 日（金）　　ちびっこサロン　　参加者　　８名
雨だった為、ちびっこサロンの開催場所が土屋宅に変更になりましたが、子ども達は用意されていたおもちゃで楽しく遊びました。

✧　５月 15 日（金）　　ちびっこサロン参加者　　21 名
児童相談所プレールームでちびっこサロンが開催されました。
子供用品の交換会を行いました。

✧　５月 24 日（日）　　第１回スキルアップ研修　　清水テルサにて
「ピア・カウンセリング」　　参加者 60 名

相談員さんを中心に 11 グループに分かれ、同じような悩みを持った仲間と、日々の養育や、これからの不安等を語り合いました。保育は幼児・学童が学生ボランティアと「ま・あ・る」へ、就園前児童はテルサ「ちゃいるど」で沢山遊んできました。

✧　５月 28 日（木）　　里親サロン　　葵区里親宅にて
参加者　　21 名

３グループに分かれ話し合い、その後は、みんなで美味しいご飯をいただきました。

６月９日　（火）　　里親サロン　　駿河区里親宅にて
参加者　　20 名

事務局から佐野次長が参加し、受託当初からの子どもの成長を喜び合いました。

✧　６月 22 日（月）・30 日（火）・７月 13 日（月）
第２回、第３回、第５回スキルアップ研修　　静岡ホームにて
「ケア・プログラム①」
講師　ケア・プログラムシニアトレーナー　村松俊弥児童指導員
参加者　　のべ 25 名

✧　６月 24 日　（水）　　ちびっこサロン　　常葉短期大学にて
参加者　　27 名

常葉短期大学保育科の鈴木久美子教授にご協力いただき、１階和室にてちびっこサロンが開催されました。当日は学生さんと一緒に水遊びをしたり、手遊びをしたり楽しく遊びました。また、学生食堂のランチもおいしくいただきました。

✧　７月１日（水）　　第４回スキルアップ研修　　児童相談所プレールームにて
「ベビーマッサージ」　　講師　さんすまいる　塩坂弓子　氏
参加者　　８名
ベビーマッサージは、赤ちゃんとお母さんの大切なコミュケーションをとることだそうです。
４組の親子が参加しお母さんと沢山ふれあい、とても気持ち良くなりました。

今　後　の　予　定

✧　７月 21 日（火）　　認定前研修　　児童相談所にて
参加者 6 名

✧　７月 21 日（火）　　養育里親登録更新研修　　児童相談所にて
対象者 19 名

✧　８月４日（火）　　第 6 回スキルアップ研修　　少年の家にて
「減災セミナー」　　講師　日本赤十字社静岡支部

✧　８月６日（木）　　出前講座　　静岡福祉大学にて
「養育体験発表」　　里親 2 組

✧　８月 18 日（火）　　第 7 回スキルアップ研修　　少年の家にて
「自立のためのステップ」　講師　県金融広報アドバイザー

✧　８月 21 日（金）～22 日（土）　　里親・ちびっこ合同サロン
島田市山の家にて

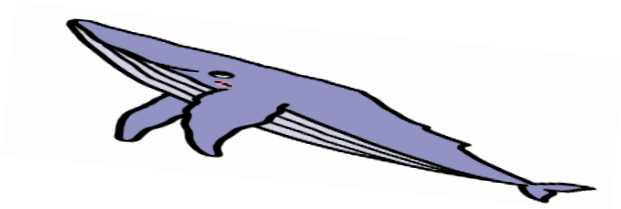
✧　９月６日（日）　　ふれあい広場　　青葉シンボルロード
「福祉まつり」

✧　９月 11 日（金）　　ちびっこサロン　　葵区里親宅にて

✧　９月 28 日（月）　　里親サロン　　清水区里親宅にて

詳しいスキルアップ研修・キャンプのお知らせは後日、連絡いたします。
多数の参加を、お待ちしています。

お　知　ら　せ



《　里親損害賠償責任保険　》

これまで全国里親会を通じて加入している「里親賠償責任保険」（保険会社：損保ジャパン日本興亜㈱）については、全国里親会及び引受保険会社から詳しい経過説明がないまま、一方的に、平成 27 年度の保険契約の対象から短期里親・季節里親等の一時的な里親が対象外となりました。

静岡市から里親が「ショートルフラン事業」を数多く受託している状況を踏まえるならば、今後の事業継続に大きな支障を生ずる恐れがあるため、当センターでは、他都市の対応状況調査するとともに、全国里親会や上記保険会社の代理店である共立株式会社に再三に亘って状況説明を求め、改善に向けた対応を要望しましたが、前向きな回答は得られませんでした。

このため、「ショートルフラン事業」を対象とした保険を調査する中で、保険代理店の㈱ＳＢＳプロモーションから「ボランティア活動保険」（保険会社：三井住友海上火災保険㈱）の対象となる旨の回答を得ることができたので、次のとおり契約しました。

「ショートルフラン事業」受託里親を対象とした保険の概要について

□　保険契約者　　NPO 法人 静岡市里親家庭支援センター

□　契約期間　　平成 27 年 6 月 12 日～平成 28 年 6 月 11 日（1 年間）

□　対象人数　　82 世帯　152 人（契約金額が非常に安かったため、契約締結時点における全里親世帯を対象にしました。）

□　保険内容

①　賠償責任条項

偶然的な事故で他人にけがをさせたり、他人の財物を損壊させたことにより、里親が損害賠償責任を求められた場合の保険金の支払い

・　保険金の内訳

損害賠償金、損害防止費用、緊急措置費用、協力費用、争訟費用など

②　障害条項

ショートルフラン事業実施中の偶然的な事故によりボランティアが被った身体の障害に対する死亡保険金、後遺障害保険金、入院保険金、手術保険金及び通院保険金などの支払い

□　留意事項

12 歳以上の子どもが起こした事故については、子ども自身の責任が問われることになるため、全国里親会の「里親賠償責任保険」では、特約で 12 歳以上の子どもも保険の対象としています。

しかしながら、今回の「ボランティア活動保険」では、そのような特約がないため、12 歳以上の子どもについては、児童養護施設が加入している施設損害賠償責任保険の内容を踏まえた事業実施を検討する必要があります。施設損害賠償責任保険で対応できる施設は、市の調査によると、近隣では静岡ホームだけです。

このため、他の施設からショートルフラン事業の実施依頼があった場合には、児童相

談所との協議を経て、委託予定の里親さんの意向を確認の上、決定させていただきます。

《　里親委託の状況　》

年月日	登録里親数					里親委託児童数	乳児院	児童養護施設	合計	里親等委託率
	養育里親		養子縁組里親	親族里親	合計					
	養育里親	専門里親(再)								
2005/4/1	66世帯	(1世帯)	—	4世帯	70世帯	18人	9人	94人	121人	14.9%
2015/4/1	74世帯	(8世帯)	6世帯	2世帯	82世帯	60人	8人	69人	137人	43.8%
10年間の増減	8世帯	(7世帯)	6世帯	△2世帯	12世帯	42人	△1人	△25人	16人	28.9%

静岡市が政令指定都市に移行して10年。里親委託の状況は、表のように大幅アップしています。

静岡市は、今年3月に策定した「第3次総合計画」の中に、平成30年までに里親委託率を50%程度とする目標を掲げています。その目標達成の可能性はぐ～んと高まっていますが、その一方で色々乗り越えるべき課題も見えてきています。当センターも里親支援のため、一層、頑張ってまいります。

NPO法人　**静岡市里親家庭支援センター**
〒420－0947　静岡市堤町914番地の417(静岡市児童相談所内)
TEL. 275－2252・FAX. 255－2052
担当者　　望月　根生　トマジ
E-mail: satooya@skyblue.ocn.ne.jp